

1 生徒総会

5月22日(木)9:00~10:15に生徒総会が開催され、「学校への要望一覧」の資料に基づき、各学年学級から生徒による要望の発表と要望に対する意見交換が行われました。

「学校に対する要望」には、施設設備や校則、日課の変更(部活動の時間を含む)などに関するものがありました。

事前に「学校に対する要望一覧」を受け取っていたので、要望に対する賛成の意見が多いのではと予想していましたが予想とは異なるものでした。

要望に対する意見交換では「〇〇する工夫をすればいいんじゃないか。」「先生たちの手を煩わせることになるのではないか。」など要望に対する現状での改善策を提案する建設的な意見が多くみられたことに驚きました。

教師をはじめとする大人からの指示に従うこと、決められた校則に従うことは集団生活を送る上では必要なことですが、「予測困難な時代」「障害を理由とする差別の解消に向け、合理的配慮の提供に必要な意思の表明が求められる時代」においては、生徒自らが主体的に考え、変化を呼び起こす力を学校生活において育てていくことも必要だと感じています。今回の生徒総会で勇気を出して自分の意見を述べた生徒が多くいました。生徒が主体的に考えて述べた意見には、我々教職員もその意見に真剣に向き合い、生徒との対話を重ねていきたいと思っています。

2 エージェント

生徒総会での生徒の様子を見て、「エージェント」という概念について考えました。

エージェントは、OECD(経済協力開発機構)が Education プロジェクトで提唱している概念で「変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力」のことです。

予測困難な時代において、これからの時代に求められる力だと言われています。

これまでの学校生活を振り返り、もっとこうした方がいいのではないかと考え、変化を起こすために勇気を出して意見を述べている姿が印象的だった生徒総会。どうしてそのように変えるべきなのかを自分の言葉で説明する姿、他の生徒の意見を聞いて、自分の考えを修正する姿、反対意見にもしっかり耳を傾ける姿は、これからの時代に求められる姿だと感じています。

自分たちの学校がどうあるべきかを主体的に考え、他者の意見に耳を傾けながら合意形成を図る営みをこれからも支援していきたいと思っています。